



アンコールクライマーズネット (ACN)

by Angkor Climbers net

ニュースレター

第26号

(株)タイカ、(株)モンベル、(株)ピラミッドジャパンより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2020/3/25

第9回 アンコールカップ開催 2019年12月7日～10日



アンコールカップは昨年度よりカンボジア教育青年スポーツ省の国内選手権大会として認められています。今年も(株)タイカより特別協賛をいただいてスピード・リード・ボルダリングの3種目を実施しました。6月のロータスカップに続き、ユース全カテゴリーに協賛各社から賞品を出していただき、大会後の抽選会にも皆様方からたくさんの景品をご寄贈いただきました。次ページからの記録をご覧ください。ご協力どうもありがとうございました。



恒例のペンキ塗り替え



大会直前の3日間、教育省主催のクライミング大会運営講習会がおこなわれ全国から体育課員や体育教師が参加しました。



講習会参加の審判も一緒に、競技方法や用紙記入の説明を受けました。



Speed Adult and Youth Junior (18歳以上) Male 9					
S	Name	B.Year	No.	Team	2nd
1	Sor Seyha	1997	4	Phnom Climb	4
2	Sambath Pheaktra	2001	25	Samdach Ouv	5
3	Cho Channy	1995	3	Phnom Climb	F

Adult and Youth Junior Female 3					
1	Yin Pisey	1997	104	Phnom Climb	7
2	Meas Sreynich	1995	103	Phnom Climb	9
3	Leang Sarang	1987	101	ACN	25

Youth A & B (14-17歳) Male 10					
1	Huy Yanfai	2004	51	10 Makara	5
2	Huy Yanfei	2002	31	10 Makara	5
3	Sambo Panha	2003	34	10 Makara	6

Youth A & B Female 3					
1	Yun Sovachana	2004	151	10 Makara	12
2	Sen Sengly	2004	152	Chibodia	14
3	Thouen Chanthou	2004	153	Chibodia	24

Youth C & D (13歳以下) Male 5 with additional holds					
1	Im Chy Eang	2009	92	Kruos	11
2	Ny Chalna	2007	71	Kruos	12
3	Sry Vireakboth	2008	91	Mouk Neak	16

Youth C & D Female 4 with additional holds					
1	Im Vinnith	2006	171	Kruos	15
2	Oi Srey Pech	2007	173	Chibodia	16
3	Im Vinneath	2008	191	Kruos	16

Lead

Adult and Youth Junior Male 8 Final route 5.12d				
L	Name	B.Year	No.	Height
1	Sambath Pheaktra	2001	25	15'1'15
2	Huy Barang	1999	9	15'1'20
3	Cho Channy	1995	3	13+ 1'55

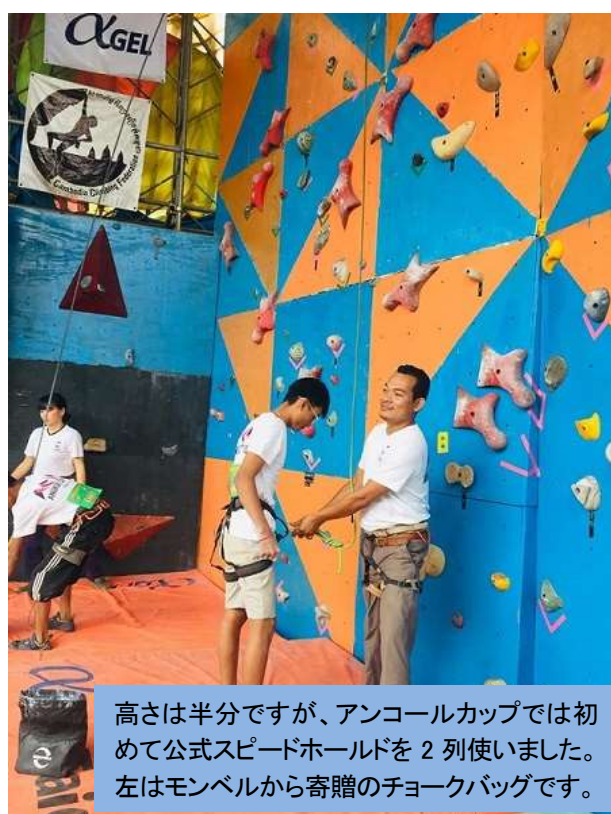
Adult and Youth Junior Female 3 Final route 5.11b				
1	Yin Pisey	1997	104	17'1'45
2	Meas Sreynich	1995	103	10'0'49
3	Leang Sarang	1987	101	6'2'14

Youth A & B Male 10 Final route 5.12d				
1	Huy Yanfai	2004	51	13'1'38
2	Huy Yanfei	2002	31	13'1'51
3	Im Den	2002	35	11'2'08

Youth A & B Female 3 Final route 5.11b				
1	Sen Sengly	2004	152	12'2'53
2	Yun Sovachana	2004	151	6'1'50
3	Thouen Chanthou	2004	153	5'0'51

Youth C & D Top rope Male 5 Final route 5.11c				
1	Ny Chalna	2007	71	10'1'11
2	Rom Koem Eng	2007	72	10'1'36
3	Im Chy Eang	2009	92	9'0'36

Youth C & D Top rope Female 4 Final route 5.11c				
1	Im Vinnith	2006	171	10'1'18
2	Oi Srey Pech	2007	173	8'0'35
3	Nol Voleak	2007	172	8'1'23



高さは半分ですが、アンコールカップでは初めて公式スピードホールドを2列使いました。左はモンベルから寄贈のチョークバッグです。



Bouldering

Adult and Youth Junior Male 9

	Name	B.Year	No.	Team	Final	a T	a Z
1	Sambath Pheaktra	2001	25	Samdach Ouv	2T3Z	3	4
2	Cho Channy	1995	3	Phnom Climb	2T3Z	3	5
3	Sor Seyha	1997	4	Phnom Climb	2T3Z	10	8

Adult and Youth Junior Female 3

1	Yin Pisey	1997	104	Phnom Climb	2T3Z	3	6
2	Meas Sreynich	1995	103	Phnom Climb	2T2Z	3	2
3	Leang Sarang	1987	101	ACN	0T1Z		4

Youth A & B Male 13

1	Huy Yanfei	2002	31	10 Makara	1T3Z	2	5
2	Sambo Panha	2003	34	10 Makara	1T1Z	4	1
3	Im Long	2003	37	Chibodia	0T3Z		18

Youth A & B Female 3

1	Sen Sengly	2004	152	Chibodia	2T3Z	3	4
2	Yun Sovachana	2004	151	10 Makara	1T2Z	1	2
3	Thouen Chanthou	2004	153	Chibodia	0T1Z		2

Youth C & D Male 5

1	Ny Chalna	2007	71	Kruos	3T3Z	4	3
2	Im Chy Eang	2009	92	Kruos	3T3Z	6	3
3	Rom Koem Eng	2007	72	Thlork Andaung	0T3Z		8

Youth C & D Female 4

1	Im Vinneath	2008	191	Kruos	2T3Z	2	4
2	Im Vinnith	2006	171	Kruos	0T3Z		4
3	Nol Voleak	2007	172	Siem Reap	0T3Z		4



閉会式にはプラカードを持って並び、前々日に終了していたリード優勝者の模範登攀を見、教育省体育課からまたメインスポンサーのタイカさんから励ましのお言葉をいただきました。ここに名前を挙げた選手は、政府からの賞金授与者、他にも競技種目はスピード・リード・ボルダリング各6年齢枠男女別ですので36あり、そのそれぞれに協賛各社からの賞品をいただきました。その後恒例の抽選会、また、昨年に引き続き、JMSCA(日本山岳クライミング協会)から日本代表ユニフォームのプレゼントがありました。当日はたくさんの賞品でまた抽選会で盛り上がってしまい、プノンペンへ帰る選手たちのバスの時間に間に合わなくなっていましたので、写真はチーム別に翌週撮影しました。応援してくださった皆様どうもありがとうございました。



アジア選手権大会 2019年11月6-10日インドネシア・ボゴール



この競技の様子は
<https://www.facebook.com/seyha.sor.1/videos/995339104145285/>



昨年度は、日本の鳥取・倉吉で行われたこの大会が、今年度はインドネシアのジャカルタ近郊で開催されました。6月末のロータスカップで選ばれたセイハとピサイが参加しました。倉吉の時はコーチもつき、成田空港送迎に始まり鳥取の空港送迎、宿舍会場往復等すべて会員の皆様とタイカの西東さんがつききりで案内してくださって参加できたわけですが、今回は初めてコーチなし、プノンベン空港から現地往復、送迎バス、宿舍手配、現地登録等すべてセイハとピサイだけで行ってきました。成績のほうは、また下のほうではありますが、それでも例えばボルダリングで昨年は1つもTopが取れなかったのに、1つは取れた等少しずつの進歩がありました。結果はIFSCのウェブサイトで見

られます。 <https://www.ifsc-climbing.org/index.php/world-competition/last-result>

ピサイがフェイスブックに「みんな私のことを笑わないでくれてありがとう」と載せ、帰国後トレーニングに熱が入った様子を知らせていました。上位は日本と、スピードはインドネシアが独占状態でした。日本には、全国に500以上のクライミング壁があり、そこから何段階か勝ち抜いて選手は参加してきています。カンボジアは、国の中にたった2つしか試合のできる壁がなく、そこに集まった男女各50人は超えてない成人選手からの代表参加です。当然の結果かもしれませんが、それに甘えない姿勢は立派です。



アジアユース複合選手権 2019年11月14-17日 重慶



ロータスカップで選ばれたヤンファイとシンリーがユースBに出場しました。当初は10月にインドで行われる予定だったアジアユース選手権大会をめざしましたが、こちらの複合(コンバインド)大会の中国ビザ手続きを始めなければ間に合わないという時点でインドの大会が無期延期されていたため、このコンバインドのほうに出場しました。結果は同じIFSCのウェブサイトに載っています。やはり上位はジュニア、A、Bともに日本・中国・韓国の選手ばかりです。複合なので、スピード・リード・ボルダリングの順位を掛け合わせていますから、結果はとても大きな数字になってしまいます。

<https://www.ifsc-climbing.org/index.php/world-competition/last-result>

この予選ボルダリングの動画は 以下で紹介されています。ヤンファイが、自分で考え課題を解決していく様子が撮影されています。競技順の前後に日本選手が多かったためか、さかんに「ガンバ」という声が聞こえます。

<https://www.facebook.com/tevy.in/videos/2215495615218070/>



中国招待 Yangshuo Climbing Festival 10月24-27日 に出場



Yangshuo は桂林の近く、自然の岩場の中に競技用人工壁が建っています

15歳以下のコンペなので、トップロープ。スピード壁には黄色の補助ホールドが設置されています。

中国、ロシア、フランス、カンボジアの4カ国から15歳以下の生徒たちが招待されました。プノンペン の Chibodia <https://www.chibodia.org/> という NGO の子供たちが招待されたのですが、ACN から15歳限定で2人どうぞとのことで、ラタナとボビチア、引率のキムスロイが参加しました。パスポート、ビザ、旅費滞在費等すべて主催者に出していただき、手続き等はプノンクライムのお世話になりました。ボルダリングは次頁写真の会場で行われました。大会後、参加者は外の岩場にも連れていっていただきました。





Cambodia Climbing Federation カンボジアクライミング連盟支援

SEACF 総会に参加 2020 年 1 月 11 日マレーシア・クアラルンプール

東南アジアクライミング連盟総会に、今年もタイカさんからご支援いただき、CCF からスムロンが、また教育省からトイブンフーン氏が参加しました。各種の研修や 2021 年にハノイで行われる東南アジア大会への参入の方法等が話し合われました。



東南アジアクライミング連盟のフェイスブックで、会議の様子が紹介されています。

<https://www.facebook.com/pg/South-East-Asia-Climbing-Federation-110685017071644/posts/>

初めての CCF 総会 2020 年 2 月 14 日プノンペン

今年は連盟設立 10 年目、教育省の連盟担当の上記トイブンフーン

さんの呼びかけで、プノンペンに各地方、選手代表等が集まり、2024 年までの新理事長に Khmer Climbing School 校長のソテリン氏を選びました。これまで IFSC への選手登録や加盟費の送金、IFSC からのメールの送受信、対外交渉など国を代表する連盟としての CCF の仕事をスムロン事務局長(司会:写真右)がすべて一人でやっていましたが、これで協力体制ができ、一歩前進です。11 人の新理事のうち、4 人が女性です。



JMSCA 日本山岳クライミング協会 Sport for tomorrow 視察

日本山岳協会という名前の時からじまってこの10年間に、カンボジア選手の日本研修や日本で行われた会議へのCCF理事の参加、そして国際クライミング連盟への加盟などで大変お世話になってきたJMSCAです。今年も、次から次へと続く国内や国際大会実施の日程がとても忙しい中で、カンボジアへの訪問予定をやりくりしていただき、この視察が実現しました。1月17日～20日に、シェムリアップとプノンペンで、わがアンコールウォール、プノンクライム、国立スタジアムなどを見ていただきました。



アンコールウォールでの子供達の日曜練習では、貴重なアドバイスをいただきました。練習の写真も、日本の外務省のウェブサイトにもスムロンの感想とともに掲載されています。 https://www.mofa.go.jp/mofaj/p_pd/ep/page22_003433.html

プノンクライムのコンペ Sva Prey に参加 2020年3月1日

このコンペにも、タイカさんから旅費・参加費をご支援いただき、ACNからは15歳以上の10人と役員審判として5人が参加しました。種目はボルダリングの18歳以上大人とユース15-17歳でした。シェム選手の女子は高校生のヴァチャナ1人だけ、プノンペンでも、カンボジア人女子の参加はまだ少なかったですね。男子の方は盛況で、大人、ユースの部ともに第二決勝がありました。



<https://www.facebook.com/BTVCambodia/videos/491948144808711/UzpfSTewMDAxMDA3NjEzMDI2ODoxMDkyMjI1ODgxMTIzMjc3/>
試合の様子は、カンボジアのテレビで紹介されました。SVA Preyは、森の猿という意味。大人男子1位はワンナック。

From ACN's Desk : 事務局から

・NPO法人としての会員は現在 53 名、会員として継続的な支援をお願いします

■特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット（日本事務局）

ACNへ入会をご希望の方は、随時下記宛て、郵送、電話、メール、のいずれかでお知らせください。一般個人会員の年会費は¥5,000です。事業年度(7/1～翌年6/30まで)に対応して納入をお願いしています。みなさまの支えがカンボジアの青少年の、健全な成長を継続する確実な助けになります。

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506 tel. 042-498-2488 Email: info@angkorclimbers.net

ご寄贈ありがとうございます

Pump <https://pump-climbing.com/pca/> にご紹介を受け、カンボジアカラーのTシャツをたくさんいただきました。そして別のある日、浅草クライミング <https://asakusa-climbing.com/> から連絡があり、シューズをたくさん頂きました。こうやってなにかの縁で ACN のことを記憶にとどめていただいてご支援いただけることは本当に有難いことです。



ある日、パラクライミングで有名な NPO 法人モンキーマジック <https://www.monkeymagic.or.jp/> から事務局に連絡がありました。そこから有名なジム

寄付・寄贈 2008 年に NGO としてスタートしてから **2020/2/29 現在までの**、寄付金累積総額は、¥ 10,425,670+ US\$14,257

となりました。また、里親基金累計総額は、¥5,000,000 +US\$1,250 です。大変ありがとうございました。

2019 年 9 月～2020 年 2 月までに、ご寄付、ご寄贈、里親出資いただいた方は下記の通りです。なお、本お知らせは、ニューズレターと連携して対応する期間に寄付された方のお名前だけを本誌にて、順次お知らせしています。

一寄付 浅田信一郎様、林武子様、浅水伸介様、アナコットカンボジア様、鍵山彩様、小林五月様、有泉重正様、高木智子様、高橋千鶴子様、堀田圭子様

一寄贈 ※寄贈及び奉仕活動をもってご支援いただいた方も含みます。(株)タイカ様、(株)モンベル様、日本山岳クライミング協会様、Phenom Climb Community Gym 様、(株)ピラミッドジャパン様、Pump 様、浅草クライミング様、吉富明様、才原明男様、中江恵美子様、香川久士様、若江勇一様、クライミングスタジオ Brave の皆様、池口真弘様、有泉重正様、平川真司様、安田至宏様、栗原俊雄様、栗原あすか様、安田陽菜様、都立両国高校ボランティア様、埼玉栄高校ボランティア様、林武子様、中道桜様、清水智子様、有泉綾之様、門多真理子様、堀田圭子様、Lisa Twaronite 様、Yann Bigant 様、福神和子様、伊藤洋美様、Tシャツ、クロマー、頑張るゾウさん等を通じてご協力いただいた方々や、松山でクライミング用品を寄贈してくださった方のお名前はその都度記録していませんが、この期間だけで、40 人以上の方々から、ご寄付ご寄贈をいただきました。ありがとうございました。

一里親 堀田圭子様、才原明男様、清水不二様 (順不同)

★★★ 寄付及び会費専用口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010
番号 75286831
口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱UFJ 銀行

支店名：調布支店
預金種目：普通預金 口座番号：0081781
口座名：アンコールクライマーズネット

Web サイトでもご確認いただけます。

<http://www.angkorclimbers.net/>

☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆

■ Facebook

<https://www.facebook.com/angkorclimbersnet/>

■アンコールクライマーズネット (日本)

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506
tel. 042-498-2488

■アンコールクライマーズネット (カンボジア)

Angkor Climbers Net (ACN)
tel. +855-(0) 92-336 924, +855-(0) 12-793 221

・人工壁所在地 (この宛先に上記電話番号 092-336924 併記で郵便物は局留になります。電話番号の記入がないと届きません。郵便物の宅配制度は、ありません)

Angkor Climbing Wall (グーグルマップ上の名称です。3 輪タクシー PasApp 等はこの名前でウォールに案内してくれます。)

Krous village, Svay Dangkum commune, Siem Reap city, Siem Reap province, Cambodia

■ email info@angkorclimbers.net

こういう時こそ公平公正に

Editor's note

カンボジア教育省からのお達しで、「子供が行かないように親が監督すべき場所」の一つに、スポーツジムが挙げられています。日曜日でもだれもウォールに来ません。シェムリアップ最初の感染者が日本人からということでその方の写真がフェイスブックに出るなど、ちょっと魔女狩りのような雰囲気も感じます。カンボジアの歴史を考えると自分で考えるのは怖いというのはわかります。でもこういう時こそ自分の頭で考えて行動できたら、それでこそクライマーだと思うのですが、(Chimi)



Contents

- 01 第 9 回アンコールカップ
- 04 アジア選手権大会
- 05 アジアユース複合選手権大会
- 06 CCF 支援
- 07 JMCA 訪問

アンコールクライマーズネットニューズレター

2020 年 3 月号 NO. 26 2020 年 3 月 25 日発行 非売品

特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット

発行人 代表理事 浅井和英

編集人 事務局 伊藤明子

発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506

Tel / Fax 042-498-2488

www.angkorclimbers.net

facebook [angkorclimbersnet](https://www.facebook.com/angkorclimbersnet)